

## JPEC World Report

### 欧州 2026 年 9 月版

#### ハイライト

➤ 政策動向

- 欧州議会は、排出量取引制度 ETS や国境炭素調整メカニズム CBAM の関連法案について採択を実施。欧州委員会の提案より、やや規制を厳格化する内容の修正案となった。
- ドイツの電力供給の安定化に関する 350 億€規模の支援計画が承認された。

➤ 企業動向

- ORLEN は、船舶燃料向けの LNG およびバイオ LNG の事業ポテンシャルについて、ポーランドの現地港湾とともに評価を開始した。
- 水素・合成燃料分野では、Sunfire による SOEC パイロットプラントの建設開始や、OMV Petrom のグリーン水素向け 55MW 電解槽の設置完了の発表があった。モータースポーツ向けの Synhelion の合成ガソリン提供や、Air Liquide・Toyota 等の企業連合による水素燃料車の普及促進に向けた全米結核会の結核の患者も多かった。

➤ 石油価格

- 7月の欧州 OECD 原油貯蔵所の原油貯蔵量は前月並みの水準だが、前年比では 4.9%の減少であった。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。  
お申し込み後、続きをご覧くださいための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、  
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

- ◆ 情報提供サービスのお申込みはこちら >
- ◆ 賛助会員については、こちらからお問い合わせください >

## 1. はじめに

ドイツ・デュッセルドルフで 8/27-28 の 2 日間にわたり開催された第 49 回 中東協力現地会議に参加したので、その内容を報告する。

本会議には、経済産業省、外務省の省庁関係者、および中東地域で事業を行う企業の現地駐在員を中心に 250 名規模の参加者であった。今回のテーマは「新局面への適応力と柔軟性：日本と中東のパートナーシップのさらなる深化」であった。

※「中東協力現地会議」について

<https://www.jccme-forum2026.com/>

## 2. 内容

### 【イラン戦争状況】

- アメリカの中東への関心低下によるイラン、及び代理勢力の台頭が今回の紛争の遠因にある。
- また、2 期目のトランプ政権において、米国の本質的な帝国主義的要求・主張を隠さなくなった状況で、イスラエルに勝たせられる形で、アメリカが関与を中断。イラン側としても、本意ではなく、押し付けられた戦争と認識している。
- アメリカ-イスラエルが望むイラン政変の實現は、イランとしては絶対に受け入れられず、政変實現を表明することが、よりイランが国際に孤立する要因となっている。
- イランは強気に振舞い、ホルムズ海峡においても従来の領事より広いエリアで影響力を行使している。
- ホルムズ海峡は、海産ケーブルが敷設されており、重要インフラの重要拠点。これが攻撃対象となる



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、  
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >

## JPEC World Report

### 米州 2026 年 9 月版

#### 概 況

◆トランプ大統領の支持率はイラン情勢や物価高を背景に、9 月 1 日時点の各種世論調査の平均で 39.5%と低い水準になっている。11 月 3 日に中間選挙が予定されている。

◆8 月 30 日の軍事攻撃後 31 日原油先物は反発、9 月 7 日のレイバーディを挟み 8 日続伸し、10 日 WTI の期近物は 1 バレル 102.48 ドルまで値を上げた。背景にはイラン情勢の展開に加え、1982 年 11 月以来の低水準となった戦略石油備蓄（SPR）の減少がある。9 月上旬にはフーシ派がサウジア南部のエネルギー施設に重大な攻撃を行った後、東部パイプラインにも攻撃を加えた。

◆18 日の NYMEX で原油先物価格は 3 日続伸、WTI の期近物は前日比 1.61 ドル（1.6%）安の 1 バレル 100.30 ドルで取引を終えるなど、中東情勢による原油価格の急激な上昇に反して、持ち直し傾向が続いた。



◆9 月 14 日 2022 年 9 月 14 日  
この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。  
お申し込み後、続きをご覧くださいための閲覧用パスワードをお送りします。

◆9 月 14 日 2022 年 9 月 14 日  
賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、  
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >

## JPEC World Report

### 中国 2026 年 9 月版

#### ハイライト

◇ 7 月の市況概況 ※ 8 月の統計データは 9 月末に更新されるため、次号にて掲載予定

- 原油は、生産量 1,800 万トン(横ばい)、輸入量は 3,500 万トン(前月比 600 万トン増)。輸入量が 3 カ月連続の減少から増加に転じた。
- ナフサの輸入量は 120 万トン(前月から倍増)、イラン情勢悪化前の水準に近づく。
- 製油所稼働率は、国営石油会社が 77.9%(前月比 4.6 ポイント増加)、地方製油所は 55.2%(前月比 7.9 ポイント上昇)と、一部製油所の再稼働等によりいずれも上昇。

◇ 8 月の主な業界動向

- グリーン化(環境対応)の進展：グリーンアンモニア証書やグリーン電力証書価格指数の導入により、環境価値を取引・可視化する制度整備が進みつつある。また、中国広核集団による原子力拡大や、タリム油田・長慶油田での太陽光発電・蓄電活用等、国営エネルギー企業による低炭素電源の導入が加速している。さらに、同様に中国企業では石化化学プロセスにグリーン水素を組み込む等、化石燃料依存型産業



**この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。**  
**お申し込み後、続きをご覧いただくための閲覧用パスワードをお送りします。**

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、  
下のボタンから続きをご覧いただけます。

**続きを読む**

- ◆ [情報提供サービスのお申し込みはこちら >](#)
- ◆ [賛助会員については、こちらからお問い合わせください >](#)

## 中国国際サービス貿易交易会（CIFTIS 2026）参加報告

－政治面での課題がある中でも続く、日中ビジネス交流の現場を見て－

### 要旨

今回初めて CIFTIS を見学した。JPEC の業務に直結するエネルギー関連展示は多くなかった一方、JETRO の日本展示区や日系企業の出展、中国側来場者との商談・交流は活発であった。日中間には政治面で立場の違いや課題があるものの、ビジネスの現場では企業・支援機関・消費者の交流が実務的に続いていることを実感した。

### 1. 開催日時・訪問概要

- (1) 開催時期：2026 年 9 月 9 日（水）～13 日（日）  
※訪問日：2026 年 9 月 12 日（土）
- (2) 会場：北京・首钢園（Shougang Park）

### 2. CIFTIS とは

- (1) 中国国際サービス貿易交易会（China International Fair for Trade in Services）。2012 年に始まった、中国を代表するサービス貿易の総合見本市。金融、情報通信、文化・観光、健康、物流、環境サービスなど幅広い分野を扱う。
- (2) 2026 年は約 1,830 社が会場出展し、会期中の主要エリア来場は約 42 万人。主賓国はルウェーで、各国・地域・国際機関の展示や商談、フォーラムが行われた。

### 3. 今回の CIFTIS の特徴

#### (1) 日本関係：



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、  
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申し込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >